

2月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

総件数 17件

(内訳)

No.1	防災システム整備事業費	…3件
No.2	こどもの居場所づくり事業	…6件
No.3	庁内キオスク端末設置事業(コンビニ交付事業費)	…1件
No.4	多様な機能を有する道の駅検討事業	…7件

今回ご意見をいただいた人数 10人

*一人あたりのご意見件数

4件の議案にご意見をいただいた方： 1人

3件の議案にご意見をいただいた方： 1人

2件の議案にご意見をいただいた方： 2人

1件の議案にご意見をいただいた方： 6人

内訳：	10歳代	0人
	20歳代	0人
	30歳代	0人
	40歳代	4人
	50歳代	1人
	60歳代	1人
	70歳以上	4人
	不明	0人

2月定例会議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No.1	防災システム整備事業費
総務常任委員会	1	<p>恥ずかしながら、今回のアンケートまで緊急告知ラジオを知りませんでした。市のホームページや広報で周知するほか、四日市あすなろう鉄道の車両内のモニターでもこのような制度について周知した方が良いと思う。</p> <p>また、市役所や市内のショッピングモールや近鉄四日市駅など市内で人が多く集まる場所のデジタルサイネージ等で周知するのもよいかと思う。</p>
	2	<p>緊急告知ラジオ購入については、スマホでもラジオが聴けるので、スマホを持った方が便利だと思う。緊急時の情報取得、また緊急を知らせるツールとして補助対象の拡充を検討してほしい。</p> <p>また、前年比で大幅に予算を増額しているので、それに見合う実効性のある施策となるように効果検証を行なってほしい。事業ごとの費用対効果を住民に分かりやすく説明して、理解と協力を得る工夫をしてほしい。</p>
	3	<p>被災者の生活再建は早急に！大規模災害で発生する生活再建の問題は次々と出ていきます。まず「罹災証明」です。罹災証明は被災者の生活再建支援金の支給、税金や公共料金等の減免、各種支援制度を活用する際に必要な重要な書類です。</p> <p>被災直後の生活を支える給付金があるという事、ローンや公共料金等の減免制度など、能登半島地震から1年も経っているのに何も変わっていない。</p> <p>「南海トラフ地震臨時情報」など災害対応はするべきだ。</p> <p>本市は津波避難タワーがない。</p>

2月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

No.2 こどもの居場所づくり事業	
教育民生常任委員会	<p>1</p> <p>子どもの居場所について 市内の公文式や学研教室、そろばん教室なども、ある意味子どもの居場所であるといえる。おそらくフランチャイズであるため、本部にロイヤルティーを支払っていると思うが、個人経営であればロイヤルティーを補助の対象にしてはどうか。また、これらの教室に対し、市から協力を依頼してはどうか？</p> <p>既存の施設を利用した居場所づくりの実証 四日市あすなろう鉄道の日永駅、泊駅、追分駅の駅舎は無駄に大きく、持て余している感が否めない。これらを改良して子どもの居場所づくりに活用できないか。</p>
	<p>2</p> <p>子どもの居場所づくりの案に反対です。せつかくの税金を投入するなら、福島県南相馬市で導入されている、保育園や学童に預けずに、家庭保育(ワンオペ)をしている方への手当にしていた方が、家庭で子どもをみれる保護者の方が増えるので、保育士不足の解消になり、子どもの居場所づくりになると思います。 プロポーザルによる業者選定も公平ではなく、いつも決まった民間事業者に委託をして、マンネリ化しているように思います。各児童に現金給付をした方が、有効な施策になると思います。</p>
	<p>3</p> <p>子どもの居場所はさまざまあります。私は市内でフリースクールを運営していますが、これも居場所です。また、施設の開放もおこなっていることから、まちじゅうこども図書館にもなっています。 我々のような施設に対しても、手を差し伸べていただければとても有り難いと思います。また、子どもの居場所を運営する各団体が集まる会議体を新設いただき、連携が図れるようにすることを切に望みます。 このほか、不登校や障害を持っている子どもの保護者会についても、そこで得た情報から子どもの居場所に至ることがあるため、来年度は無理でも将来的には予算を拡大していただけると幸いです。</p>
	<p>4</p> <p>単なる居場所の提供にとどまらず、教育、心の支援、地域とのつながりなど包括的な支援が必要だと思います。柔軟な運営を求めます。</p>
	<p>5</p> <p>子どものうち、中高生の居場所づくりにも力を入れていただきたいです。うちの子は家や学校、塾以外で勉強できる場所を求めて、ショッピングセンターや図書館に行っていますが、遠いしすぐに満席になってるそうです。 また、居場所づくりは、地域に偏りがないようにお願いします。児童館は市西部にはなく、なかなか子どもが自分で行くことができません。バランスよく設置してほしいです。</p>
	<p>6</p> <p>全国的に人口が減少傾向である現状において、早急に取り組むべきだと思います。各地区市民センターの利用は経済的にも、また、地元住民にとっても活用が容易であり、一日でも早く対応をすべきです。市の広報や地元の社会福祉協議会、PTAなどを大いに利用して展開することを望みます。</p>

2月定例会議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

No.3 庁内キオスク端末設置事業(コンビニ交付事業費)	
産業生活常任委員会	<p>1 反対。すでにコンビニで証明書を取得できるので、庁内にキオスク端末がどれほど必要なのか、事前のニーズ調査が行われたのか知りたい。</p> <p>費用対効果も疑問。結局、案内する職員の労力が増えそう。利用時間も市役所の開庁時間になるのであれば、高額な費用をかける意味がない。設置するなら24時間利用できるようにしてほしい。</p> <p>それよりオンラインでの証明書発行サービスの充実に取り組んで欲しい。脱印鑑、ペーパーレス。エストニアのように市役所に行かなくてもよいようにすべき。</p>

2月定例会議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No.4 多様な機能を有する道の駅検討事業
都市・環境常任委員会	<p>1 新たに建設するよりも、既存の中央緑地公園、南部丘陵公園、北勢中央公園、楠中央緑地公園の一部区画を道の駅に改良してみてはどうか？新たに建設するよりは費用は少なく済むのではないか？ また、道の駅からかけ離れてしまうが、地域連携機能や情報発信の拠点にするなら、四日市あすなろ鉄道の日永駅、泊駅、追分駅、JR四日市駅及び南四日市駅の駅舎を活用できないだろうか？（いずれの駅舎も無駄にスペースを持て余している感がある）</p>
	<p>2 道の駅設置に向けた調査、検討を行うために600万円の費用が必要な理由が分からない。 調査、検討ならば通常の企画業務として、特に予算を組まなくても、遂行できるのではないか？600万円の具体的な用途を精査し、この議案の可否を検討願いたい。 さらに、道の駅の設置が「地方創生・観光」、「防災」に役立つという発想であるが、本当に役立つという具体的な説明がほしい。</p>
	<p>3 道の駅を建設することは大いに賛成ですが、場所の問題があると思います。もし、立地条件を考えるにあたり、考慮いただけるのであれば、小古曾駅、内部駅周辺であれば、あすなろ鉄道を利用して行くことができます。 防災拠点にもなりやすいことから、道路だけを考慮するのではなく、鉄道の利用も考慮することも検討していただければと存じます。駅に隣接する例としては、亀山市の「関の道の駅」も駅隣接型です。</p>
	<p>4 単発の事業ではなく、継続的な発展を見据えた取り組みを期待します。</p>
	<p>5 検討とのことですが、防災拠点施設を付設するのであれば、早く場所を決定すべきである。我が国は災害大国であるため、市民の関心は高いと思う。 今回、令和7年度当初予算額は過去最大とのこと。大型事業中心で、税金の無駄使いだと思います。不特定多数の市民が十分に納得できるのであれば、結構なことだと思いますが。</p>
	<p>6 最近道の駅の経営難が出ている。直近では「飛驒古川いぶし」が廃業した。設置に向けた調査、検討をする上で、情報発信（地方創成・観光）の面では、地域と連携した特産品名産品の販売や、レストラン、各種売店の収益面を考慮する。 休憩機能の面では、公衆トイレ・駐車場規模、できれば仮眠休養場所や浴場施設などの設置を検討し、安心して利用できる施設とする。 地域連携機能の面では、道路情報、観光案内、地域情報発信、防災機能の充実・保持などを検討し、災害時に活用する。また、維持コストの算出、安定的な人材確保、近辺の交通量の変化など考慮して、長く運営できる仕組みづくりを検討してほしい。</p>
	<p>7 四日市市に道の駅を設置することは、市の活性化につながる良いことだと思うが、設置場所、事業内容、人員、費用等、さまざまな課題を明らかにしていく必要がある。 最近、飛驒市では、道の駅が経営の悪化を理由に閉鎖する事態が発生したと報じられており、そのようにならないために、十分な検討が必要である。 600万円の予算で調査、検討するということが、観光、防災と多岐にわたって具体的な青写真を描き、検討していく必要がある。</p>